

平成25年度
主な事業
と
決算額



スポーツセンターリニューアル
(5億2,674万円)
(防衛省「民生安定施設
設置助成事業」活用)



北新子育て支援センター建設
(1億6,260万円)
(厚労省・北海道「次世代育成
支援対策施設整備交付金」、北
海道「安心子ども基金」活用)



支笏湖温泉開発
(6,439万円)
(北海道「地域づくり総合交
付金」活用)



支笏湖ヒメマスふ化場整備
(842万円)
(水産庁「水産業強化対策整
備交付金」活用)

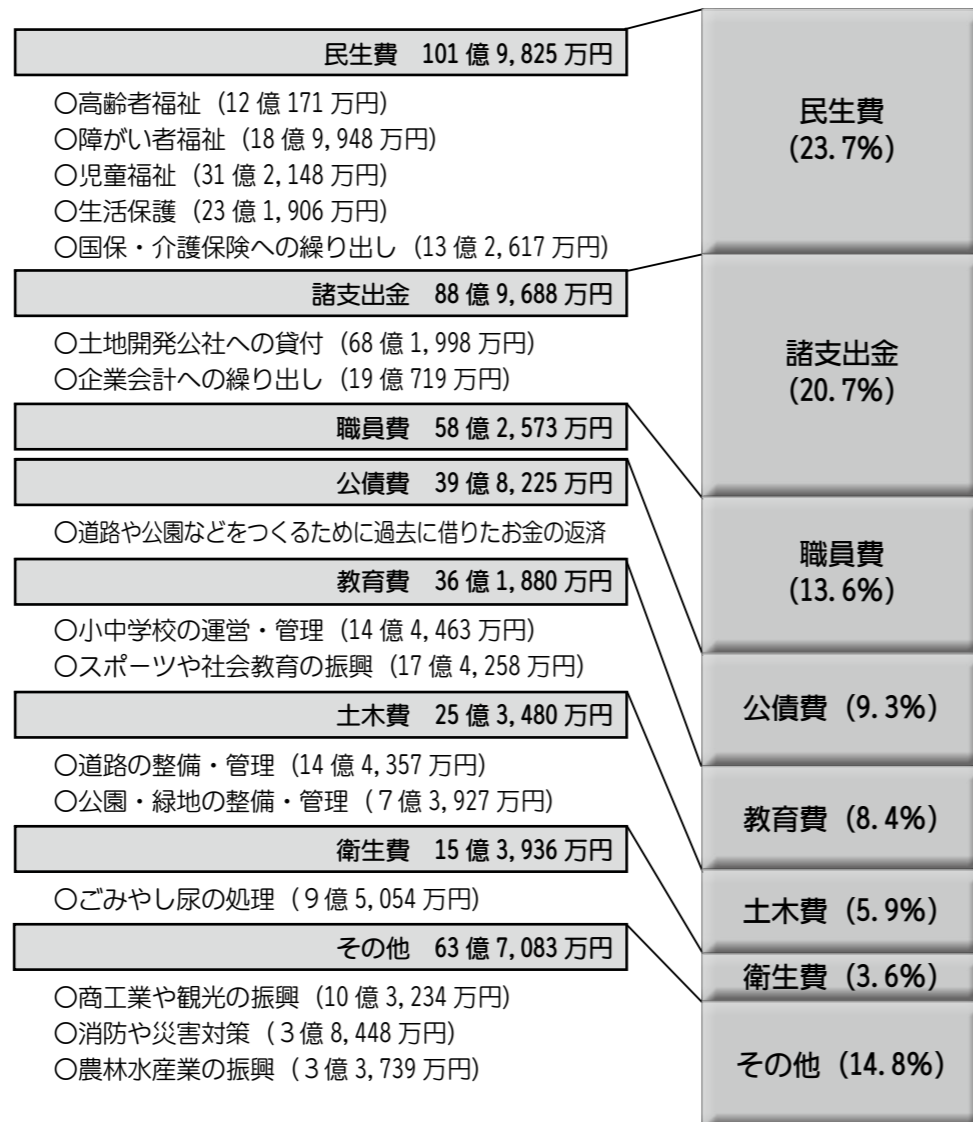
③ 公営企業会計	② 特別会計	① 一般会計
<p>■ 一般の会社と同様、独自の収入で経費を賄う「独立採算」を原則とする会計です。</p>	<p>■ 収入の使い道が決まっており、それらの収支を明らかにするため、一般会計と分けています。</p>	<p>■ いちばん金額が大きな会計です。 ■ 福祉、教育、道路整備など、基本的な経費が中心になります。 ■ 市民の皆さんが納める税金や国からの地方交付税などの収入で賄われています。</p>

市の会計は、3種類あります
予算は、目的ごとに収支を明らかにするため、会計を「①一般会計」、「②特別会計」、「③公営企業会計」の3つに分けています。

平成25年度、市から出たお金 …

一般会計 歳出

429億6,690万円 決算額



一般会計

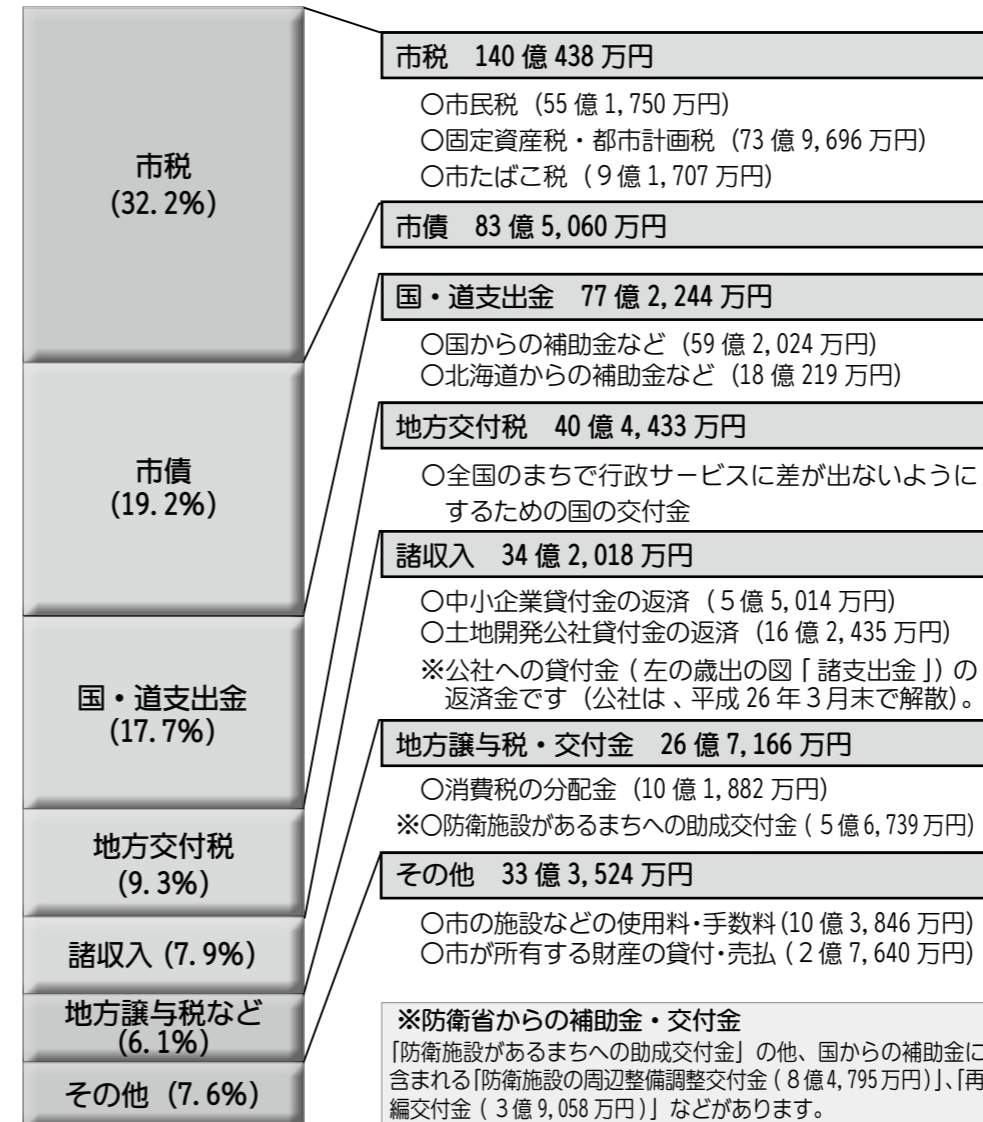
1

下の左右の図は、一般会計の歳入と歳出の状況を表しています。
平成25年度の決算額
歳入 435億4,883万円
歳出 429億6,690万円
差し引き、5億8,193万円の黒字になっています。
このうち、1億6,367万円は翌年度の事業費として繰り越すため、実質的には、4億1,826万円の黒字になりました。
予算の執行にあたり、経費の節減や業務の見直しなどを行った結果、当初、収支不足分として見込んだ基金からの繰り入れをすることなく決算を行い、黒字額のうち、3億5,471万円を基金に積み立てました。

歳入 一般会計

…平成25年度、市に入ってきたお金

決算額 435億4,883万円



特集
平成25年度
ちとせの
決算

市は、市税など、市に入ってくるお金「歳入」と、事業などに使うため、市から出ていくお金「歳出」を算定して、1年間の予算をつくります。
今月の特集は、市の予算が1年間どのように使われ、市の財政状況はどのようになっているのか、平成25年度の決算についてお知らせします。

○まちの借金

■学校や公園など、施設の建設には多額の経費が必要になるため、市は、国や銀行などからお金を借りて事業を実施しています。
 ■借り入れたお金の返済を通して、将来の利用者に対しても公平に費用を負担していただいています。

市が借りているお金(市債)

一般会計	403億8,888万円
特別会計	1億928万円
公営企業会計	259億7,079万円
合計	664億6,895万円

むすびに・・・

■平成25年度の決算では、一般会計・特別会計・公営企業会計は、いずれも黒字になりました。
 ■国内においては、消費など内需を中心として景気回復の動きが広がり、企業収益の増加からも、景気回復の動きが確かなものになることが見込まれていますが、地方財政はこれからは厳しい状況が続くものと考えます。
 ■市は、「財政標準化計画」に基づき、収支のバランスを維持・継続しながら、今後も安定したサービスの提供と持続可能なまちづくりを目指した財政運営を進めます。

※決算状況などは、市のホームページ、「市政情報」-「財政」-「決算」のページに掲載しています。

特集記事の
お問い合わせ

総務部
財政課財政係
☎(24)0541

まちの
財産

■市は、市政を進めていくために必要な財産を持ち、目的に合わせて効率的な運用を行っています。
 ■財産には、公園などの土地、学校などの土地・建物、有価証券、出資による権利、基金があります。

土地・建物

財産区分	土地	建物
行政財産	1,278万9,846㎡	46万8,221㎡
公用財産	205万380㎡	5万2,254㎡
公共用財産	1,073万9,466㎡	41万5,967㎡
普通財産	322万2,579㎡	1万7,975㎡
合計	1,601万2,425㎡	48万6,196㎡

■公用財産
市役所など、市が直接使用する財産
 ■公共用財産
学校や公園など、市民が使用する財産
 ■普通財産
公用財産・公共用財産以外の財産

有価証券(株券など)

35億8,003万円

出資による権利(法人への資本金出資など)

3億5,309万円

基金(まちの貯金)

96億491万円

※財産の維持や資金の積み立て・運用のため、目的別に16の基金を設けています。

- 公共施設整備基金
- 国民健康保険事業財政調整基金
- みんなで、ひと・まちづくり基金
- 地域福祉振興基金
- 介護保険事業給付費準備基金
- 心のふるさと千歳基金
- 特定防衛施設周辺整備調整交付金基金
- 財政調整基金
- 奨学基金
- 土地開発基金
- ふるさと千歳国際交流基金
- 職員退職手当基金
- 特定地域振興基金
- 農業振興基金
- 減債基金

財政
健全化を
判断する
指標

■「財政健全化法」により、まちの財政状況を表す5種類の指標のうち、ひとつでも国が決めた基準を超えたまちは、財政再建に向けた計画をつくるなどの取り組みを進めることとなります。
 ■平成25年度の市の決算は、基準を超える指標はひとつもなく、財政は健全な状況といえます。

指標	指標の説明 ※数値が大きいほど財政運営が厳しい状態。	市の比率	国が決めた基準	
			早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	「市の財政の標準的な大きさ」に対する「公営企業を除いた赤字の総額」の比率	黒字決算	12.43%	20.0%
連結実質赤字比率	「市の財政の標準的な大きさ」に対する「公営企業を含む市全体の赤字額」の比率	黒字決算	17.43%	30.0%
実質公債費比率	「国の補てん分を除いた市の財政の標準的な大きさ」に対する「公営企業を含む借入金の年間返済額」の比率	10.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率	「国の補てん分を除いた市の財政の標準的な大きさ」に対する「将来負担する借入金の総額」の比率	102.2%	350.0%	
資金不足比率(公営企業ごと)	「公営企業の資金不足額」に対する「公営企業の事業規模」の比率	該当なし	20.0%	

2

市には、6つの特別会計があり、予算の範囲内で、それぞれの事業をやりくりしています。

特別会計

種別	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険特別会計 (国民健康保険事業を運営するための会計)	90億6,172万円	86億8,329万円	3億7,843万円
土地取得事業特別会計 (公共施設用地をあらかじめ取得するための会計)	12億8,199万円	12億8,154万円	45万円
公設地方卸売市場事業特別会計 (公設地方卸売市場を運営するための会計)	3,181万円	3,165万円	16万円
霊園事業特別会計 (霊園の用地取得や管理運営のための会計)	5,184万円	5,180万円	4万円
介護保険特別会計 (介護保険事業を運営するための会計)	38億4,504万円	38億4,397万円	107万円
後期高齢者医療特別会計 (75歳以上の方などの医療保険制度のための会計)	8億3,448万円	8億3,363万円	85万円
合計	151億688万円	147億2,588万円	3億8,100万円

病院事業

下水道事業

水道事業

業務の状況

市民病院
 ■入院…53,416人(146.3人/日)
前年度に比べて、1,948人、1日平均5.3人増加しました。
 ■外来…175,110人(717.7人/日)
前年度に比べて、10,447人、1日平均45.6人増加しました。
泉郷診療所
 ■外来…696人(4.8人/日)
前年度に比べて、77人減少しました。
支笏湖診療所
 ■外来…934人(3.8人/日)
前年度に比べて、49人増加しました。

■排水戸数…39,048戸
市が下水道の処理をしている建築物の戸数。前年度に比べて184戸増加しました。
 ■総処理水量…19,966,959m³
市が下水道で処理した下水の総水量。前年度に比べて約4.5%増加しました。
 ■有収水量…13,634,649m³
総処理水量のうち、下水道使用料収入が得られる水量。前年度に比べて約0.6%増加しました。
 ■有収率…68.3%
下水道の総処理水量のうち有収水量の割合が高いほど良好な指標。前年度に比べて約2.6%減少しました。

■給水人口…94,655人
市が水道で飲料水を供給している人の数。前年度に比べて604人増加しました。
 ■総配水量…11,876,758m³
飲料水として浄水場から送り出された総水量。前年度に比べて約0.03%増加しました。
 ■有収水量…11,159,765m³
総配水量のうち、水道料金収入が得られる水量。前年度に比べて約0.3%増加しました。
 ■有収率…94%
水道の総配水量のうち有収水量の割合が高いほど良好な指標。前年度に比べて、約0.3%増加しました。

3

市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの公営企業会計があります。

公営企業会計

決算の状況

収益的収支の決算

収入 57億2,668万円	収入 24億7,249万円	収入 17億2,668万円
支出 54億9,604万円	支出 22億6,792万円	支出 16億2,246万円

資本的収支の決算

収入 1億2,108万円	収入 10億8,080万円	収入 4億1,757万円
支出 6億8,741万円	支出 20億2,662万円	支出 8億9,766万円

内部留保資金残高 21億5,526万円	内部留保資金残高 16億5,695万円	内部留保資金残高 17億1,979万円
------------------------	------------------------	------------------------

■収益的収支の決算
1年間の事業活動で得られる収益と費用を損益計算の形で表すもので、会社の経営成績
 ■資本的収支の決算
1年間に支出した施設の建設経費(施設建設のための借入金返済などを含む)とその財源となる収入

※内部留保資金は、過去からの利益(黒字)の蓄積によって生じた資金で、事業運営に必要な運転資金になります。